

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和4年度事業点検・評価調査書

4-I-10

4-I-10

|           |  |      |            |
|-----------|--|------|------------|
| 章         | 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備   | 取組項目 | 二次交通の充実・改善 |
| 節         | I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等  | 事業主体 | 佐渡市交通政策課   |
| 事業(施策)名   | 10 路線バス運行計画の推進   | 関連団体 | 新潟交通佐渡(株)  |
| 事業実施期間    | H28～R6   |      |            |
| 事業概要      | <p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 繁忙時、冬期を考慮した二次交通の充実を図る。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 路線バスの効率的な運行、観光客の利便性確保に向けて適切な運行計画の推進を図る。</li> <li>○ 路線維持確保のための公的補助等を行う。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活交通としてバス路線を維持確保し、輸送需要に応じた効率的な運行体制に転換する。</li> </ul>                        |      |            |
| これまでの取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 島内バス路線を維持確保するため、国・県・市による運行補助を実施</li> <li>○ 二次交通を充実させるため、主要な観光施設への路線バスの迂回・延伸運行を実施</li> <li>○ バスフリー乗車券の販売、モバイルチケットの導入</li> <li>○ 閑散路線のデマンド方式による実証運行を実施</li> </ul>   |      |            |
| 事業計画と実績   | <p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 路線バスの維持確保のため公的補助の継続</li> <li>● 主要観光施設への迂回・延伸運行の継続</li> <li>● バスフリー乗車券の販売継続</li> <li>● 市単独補助路線におけるデマンド方式による実証運行</li> </ul> <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 路線維持のため、国・県・市による運行補助を継続するとともに、輸送需要に応じた運行を図るべくデマンド方式による実証運行を実施した。</li> <li>● 主要観光地への路線バスの迂回延伸運行を実施し、島内二次交通の確保に取り組んだ。</li> </ul> |      |            |
| 課題・今後の取組  | <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 路線バスの維持について、運転士の確保が喫緊の課題である。<br/>また、利用者が減少傾向にあるなか、島内公共交通体系の見直しが必要である。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日常生活と観光利用の2軸で、バスやタクシーによる輸送や新たな移動サービスの検討・実証調査に取り組む。</li> </ul>  |      |            |
| 事業評価      | <p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 路線バスの運行は計画のとおり実施しているためB評価とする。<br/>〔 A ・ B ・ C 〕</p>  |      |            |

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。